気仙沼市

pressrelease

記者発表資料
平成２９年７月６日（木）
総務部総務課（行政係）
担当：菅野，小野寺（内線２２１）

復興祈念公園整備に係る説明会を開催します

■　本市では，東日本大震災による犠牲者に対する追悼と鎮魂の場，防災への想いを新たにする場，地域の再興を実感しながら未来永劫の安寧を祈る場として，復興祈念公園の整備を目指し，平成２７年度より基本計画の策定を進めてきました。

■　整備予定地については，平成２８年３月に，津波被災地域に囲まれ，一方で将来的にも津波浸水のおそれがなく，海を望むことができ，地域再興が実感できる「陣山」に決定したところであります。

■　その後，関係機関との協議を踏まえ，整備方針・手法などの取りまとめも完了したことから，基本計画の内容について，地元住民をはじめ，広く市民の皆様に対し，下記のとおり説明会を開催します。

【説明会概要】

１　日　　時　平成２９年７月１１日（火）　午後６時３０分～

２　場　　所　市地域交流センター大ホール（市ワン・テン庁舎２階）

３　説明内容　復興祈念公園整備に係る基本計画について
・整備予定地について
・整備計画について
・今後について

関連する市震災復興計画重点事業
No. 53　「鎮魂の森及び震災復興･防災祈念公園の整備」

復興祈念公園の整備について

整備の目的

東日本大震災による犠牲者に対する追悼と鎮魂の場であるとともに，防災への想いを新たにする場，地域の再興を実感しつつ，未来永劫の安寧を祈る場として，復興祈念公園を整備します。

整備予定地

復興祈念公園は，平成２７年度に市内１０箇所の候補地を抽出して行った適地選定の結果から，被災地域に囲まれ，一方で将来的にも津波浸水のおそれがなく，海を望むことができ，地域再興が実感できる「陣山」を整備予定地としました。

陣山の特徴

第１８共徳丸の打ち上げに象徴されるような大津波や，津波火災等で壊滅的な被害を受けた鹿折地区・内湾地区を眼下に望み，湾奥から湾口までをも一望できます。

また，市のシンボルの１つである安波山の麓に位置し，昔から市民に親しまれ，市街地からほど近い場所にあります。

整備計画

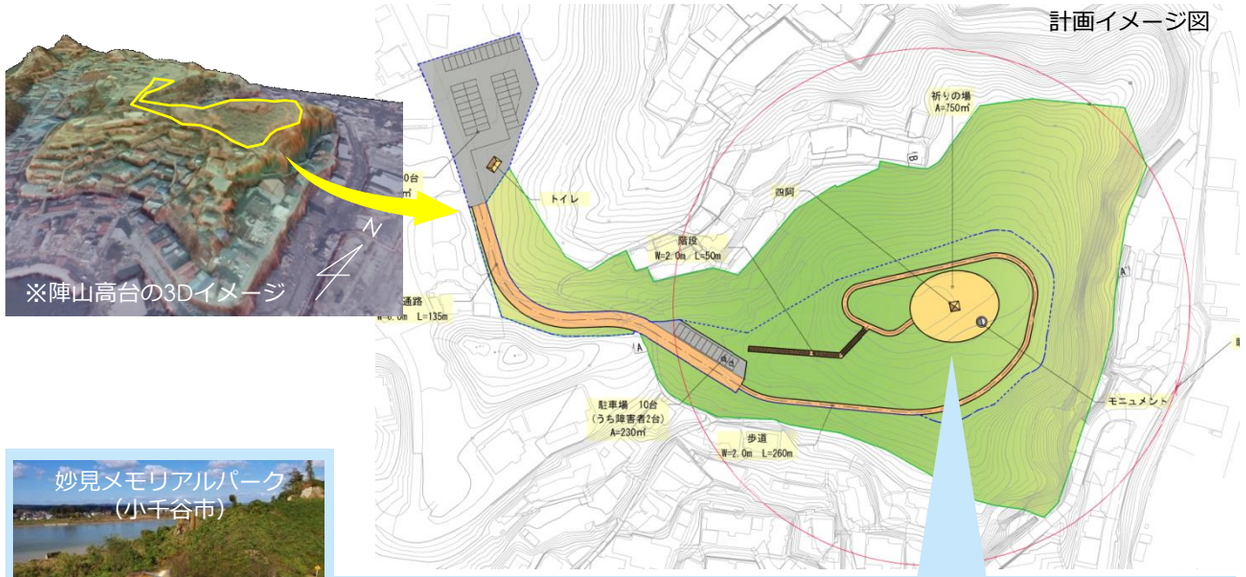
四方を見渡せる地勢を活かし，海及び復興するまちなみへの眺望を確保します。また高齢者等が苦労なく通えるよう整備を目指します。

整備に当たっては復興交付金を活用するほか，モニュメント等は寄附による整備を目指します。

配置する施設の詳細については，今後有識者・市民を交えた検討会を通じて検討します。

整備計画

面積：約2.3ha
施設：祈りの場（頂上付近）／モニュメント（祈りの場内）／
駐車場・トイレ（入口付近）／四阿（あずまや）等／待避所等／
時期：平成31年度中予定



祈りの場・モニュメント等の整備事例